



新座中だより

学校教育目標
強く 明るく 考える

〒352-0011 埼玉県新座市野火止 2-4-1

TEL 048-478-3668

HP <https://j-niiza-c-niiza.edumap.jp>

新座市立新座中学校

「9月号」

令和7年9月1日発行

「良かった」の幸せ感を一つでも多く感じる2学期に

校長 金子 文春

昨日までの44日間の夏休みはみなさんにとってどのようなものでしたか？夏は中学生をたくましく成長させます。連日に渡る記録的な暑さの中、三者面談、部活動の上位大会、1・2年生主体の新チーム本格始動、受験勉強など、心身共に鍛えられる場面が様々にあったことでしょう。私の中で最も印象に残った出来事は「教え子の同窓会」に参加したことです。教師として、人、学校、地域と何かの縁で運命的に関わることの偉大さを痛感させられました。

2006年に卒業した教え子たちは35歳になっていました。20年前に指導していた中学生は、小学校、病院、工場、イチゴ畑などで働き、故郷である地元を支えていました。また、他地方の大学研究室、銀行、IT企業などで仕事をしたり、貿易会社、学習塾の経営者として活躍したりしていました。記憶の中で幼い中学生の表情だった子どもたちは、今ではもうすっかり自立していて、社会の力となり世の中に貢献していることに、ただただ感動しました。

卒業後の動向が気掛かりだった生徒が一人いました。当時は中学校の生活や勉強になじめず、教育相談や家庭訪問を繰り返しながら、私なりにできる限りの支援を講じた生徒でした。「先生、久しぶり！」と35歳の彼が声を掛けてきました。彼は調理師学校の先生になっていました。「どうして、この道を？」の問いに「中学時代の同級生の『あなたは人に料理を作るのが向いているんじゃない？』の言葉が決め手になった」と返してくれました。私は自然と泣けてきて、経過した歳月をかみしめながら、思わず彼の両手を握りしめました。

会を通して、様々な「良かった」がありました。「この仲間と過ごして」「この学年、学校で」「この地域で」…。このように感じることは決して当たり前ではありません。ただ、もしできるのであれば、一人でも多くの人たちが、このような幸せ感を成就することに関わる仕事をしていきたいと、改めて感じさせられました。



2学期は合唱祭や体育祭、インターンシップやスキー教室への取組など、仲間と協力し、集団の絆を深める取組が目白押しです。本校は「生徒が主役」をスローガンに掲げています。みなさんが活躍し、輝き、思い出を深く刻むチャンスがあります。失敗を恐れず主体的に取り組み、絶好の機会をモノにしてほしいと願っています。